

蘇敬曰、虫有數種、並能噉血、商浙已南、江嶺間有大木虫、長大綠色、殆如次蟬、虫牛馬或至頓仆、虫蜚虫狀如蜜蜂、黃黑色、又一種小虫名鹿虫、大如蠅、虫牛馬亦猛、

〔醫心方虫魚〕木虫 和名於保安不 又キ虫ア虫ブ虫

〔伊呂波字類抄動物〕虫ア虫フ虫、醫人飛虫也、虫 蝸 蝸已上同

〔東雅虫十〕虫ア虫ブ虫 雄略天皇紀に、虫の來りて、天皇を噬みまいらせしといふ事見えて、虫古語

にはア虫ム虫といひしに、後轉じてア虫ブ虫といふとは見えたり、其義不詳、虫類には蜚虫、木虫、鹿虫、牛虫、虫語の詞、ム虫はミ虫といふ語の轉せしにて、これも嚙むを云ひしなるべし、後に轉じて、ア虫ブ虫といふに及びては、前に註せしア虫ト虫といふ物の名、此物に因りてや云ひぬらん、ア虫

〔倭訓栞中編一〕あぶ 倭名鈔に、虫を訓せり、万葉集に、蜂音をふとよめば、虫のなく聲をもて名と

せるなるべし、是蜚虫也、木虫は血を噉はずといへり、此を美濃路にては、ひの木あぶといふ、又めくらあぶあり、すゝきの根の玉よりわく、色黄也、

〔重修本草綱目啓蒙二十八〕木虫 略

集解ニ説トコロ一ナラズ、蘇恭ノ説ノ木虫ハオホウシ虫バイ虫、サン虫ネン虫ア虫ブ虫、北近虫形蒼蠅ノ如ク

ニシテ、微綠色ヲ帶ビ、大サ蠅蝸ノ如シ、利觜アリ、牛馬ニ附テ、血ヲ啞ヒ害ヲナス、鹿虫ハウシ虫バイ虫、

蒼蠅ノ形ニシテ、牛馬ノ血ヲ啞フ、一種血ヲ噉ハズ、只草木ノ花ニ集ル者ヲ、ハナ虫ア虫ブ虫ト云、此ニモ

大小數品アリ、大ナル者ハ、大黃蜂ノ形ニ似テ、鬚ナク、刺ナク、色黄ナリ、好デ花ヲ吸フ、コレヲヅ虫ン虫、

ヅ虫ン虫バイ虫、薩州、ブ虫イ虫ブ虫イ虫、備後ト云フ、中

蜚虫 コア虫ブ虫、古名、ア虫ア虫ブ虫、ア虫ダム虫シ虫、陽州 略

秋日稀ニ來ル、形黃虫、ヨリ瘠小ク、蜜蜂ヨリ大ナリ、長サ六分許、綠頭ニシテ、利觜アリ、是古渡ノ者

ニ異ナラズ、今ハ渡ラズ、皆細箴ニテ十箇横ニ貫ク、本草彙言ニ、嘴銳而利、若鋒鑽然、春半後秋半前

出、暑月繁多、ト云ヘリ、藥舖ニ貨モノ、古ハ紀州熊野ヨリ、京師ヘ多ク出ス、今ハ丹波ヨリ少シ出ス、